

fidata HFAD10-UBX の導入(2) —仕様と機能および動作確認(2)—

1. はじめに

前報(1)に引き続き HFAD10-UBX の動作確認を行います。

2. fidata HFAD10-UBX の仕様と機能

fidata HFAD10-UBX の仕様と機能については前報(1)のとおりです。

今回、fidata HFAD10-UBX の動作確認のためにサムソンの外付け SSD を準備しました。

3. fidata HFAD10-UBX の設置と接続

前報(1)では、to Device の USB 端子に使用しない端子がありました。この端子はマニュアルでは、外付け HDD 用などと記載してされていますが、詳しい使用方法の記載がありませんので、それを探ってみます。



また、PC を接続した場合、Any DVD により DVD の再生が可能であることが前報(1)で分かりましたので、引き続き BD の再生方法を検討します。

4. HFAS1-S10 と HFAD10-UBX および PC と HFAD10-UBX の動作確認

to Device の USB 空き端子にサムソンの外付け SSD を接続します。



最初に HFAS1-S10 を接続して fidata アプリを立ち上げましたが、外付け SSD は認識しません。そこで PC に接続替えしますと、PC では通常の外付け USB ドライブのように認識しましたので、この外付け SSD に収納されている 5.6MHzDSD 音源

を、PCの再生ソフト **TEAC Hi-Res Editor** で読み込んで再生することができました。つまり USB ポートは、外付け USB ドライブとしてバックアップ用や R/W 用とするための端子ということのようです。

BD の再生については、PC にインストールした **Any DVD** のアップグレードを行おうとしましたが手順が分からず、ネット上の情報では BD は再生できないということのようです。

そこで、**Power DVD** の期間限定無料版を PC にインストールし、BD の再生を試みました。小澤征爾指揮ベルリンフィルのチャイコフスキーの 6 番の BD の再生が可能であることが分かりました。BD ソフトは、持ち合わせが少ないので有料版にするかどうかは検討課題とします。



5. まとめ

HFAD10-UBX の USB 空きポートに SSD を接続して PC の **TEAC Hi-Res Editor** に読み込んで再生可能なことが分かりました。この USB ポートは、外付け USB ドライブとしてバックアップ用や R/W 用とするための端子ということです。

また、**Power DVD** の無料版を PC にインストールし、BD の再生が可能なことが分かりました。

以上